

2021 年度 個人研究実績・成果報告書

2022 年 3 月 23 日

所属	会計ファイナンス 研究科	職名	教授	氏 名	黒川行治
研究課題	公共会計学の展望（継続第 4 年度）				
研究キーワード	公共哲学，政府財政，公 共政策，納税行為の意義	当年度計画に対す る達成度	3.概ね順調に研究が進展し、一定の成果を 達成したが、一部に遅れ等が発生した		
関連する SDGs項目	4. 質の高い教育をみんなに	8. 働きがいも経済成長も	10. 人や国の不平等をなくそう	12. つくる責任 つかう責任	

1. 研究成果の概要

人間社会一般と会計との関連で生じる課題，社会を構成する市場と会計との関連で生じる課題，個人・組織と会計との関連で生じる課題，地球環境と会計との関連で生じる課題，そして，公共・政府と会計との関連で生じる課題を設定して研究を進めることで，公共会計学のジャンルの進展および確立を目的としている。研究過程における推論，モデルの設計，参考文献の選択，そして結論の導出方法の背景に公共哲学的志向を持ち込みしつつ，社会的な研究課題の設定と問題解決のために研究を遂行するため，長期的研究を視野に公共哲学に関する文献を読みつつ，そこから得られる示唆を上記に記述した諸課題における考察に活かして，教育・研究および社会貢献活動を行った。

2. 著書・論文・学会発表等（査読の有無及び海外研究機関等の研究者との国際共著論文がある場合は必ず記載）

[研究会講演]

- ・黒川行治「取引における公正性の源泉～会計と社会 公共会計学論考より～」
千葉県税理士会・千葉税務研究所特別講演会，オークラ千葉ホテル，2021 年 11 月 25 日。
- ・黒川行治「取引における公正性の源泉～会計と社会 公共会計学論考より～」
CUC 会計ファイナンス研究科 FD 講演，2022 年 2 月 12 日
- ・黒川行治「わが国政府の財政状況と納税行為の意義」
慶應義塾大学 2021 年度小泉信三記念講座講演，Web，2022 年 3 月 1 日。

[巻頭言・報告書等]

- ・黒川行治「第 2 回緊急事態宣言解除と観光需要喚起策」（巻頭言）『産業経理』第 81 巻第 1 号，2021 年 4 月。
- ・黒川行治「新型コロナウイルス蔓延下での東京五輪・パラリンピックの観客」（巻頭言）『産業経理』第 81 巻第 2 号，2021 年 7 月。
- ・黒川行治「デルタ株蔓延と自由民主党総裁選挙」（巻頭言）『産業経理』第 81 巻第 3 号，2021 年 10 月。
- ・黒川行治「新型コロナ禍後の「新しい資本主義」の実現戦略」（巻頭言）『産業経理』第 81 巻第 4 号，2022 年 1 月。
- ・黒川行治「開題－「地球市民」の観念の危機に J.S.ミルを読む－」（委員長開題）『令和 3 年度 排出クレジットに関する会計・税務論点等調査研究委員会報告書』（一財）地球産業文化研究所，2022 年 3 月。

3. 主な経費

廉価な PC 購入（バックアップ用）および書籍代金

4. その他の特筆すべき事項（表彰、研究資金の受入状況等）

とくにありません。